

ナーラテラス(階段部用)

d ≤ 6R(1820) 注)対応範囲→一般地域600形(積雪20cm以下の地域)のみ

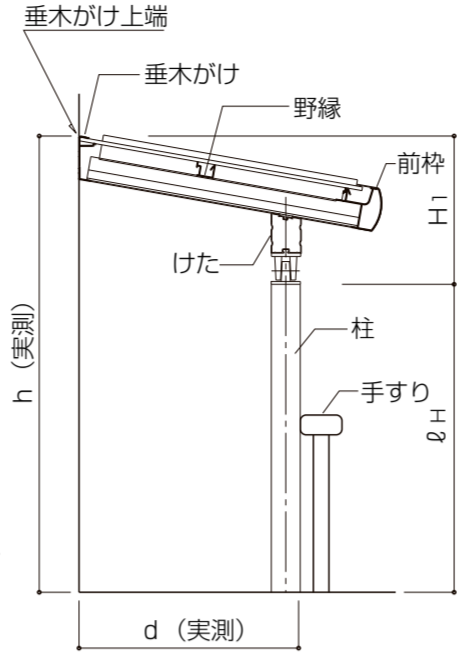
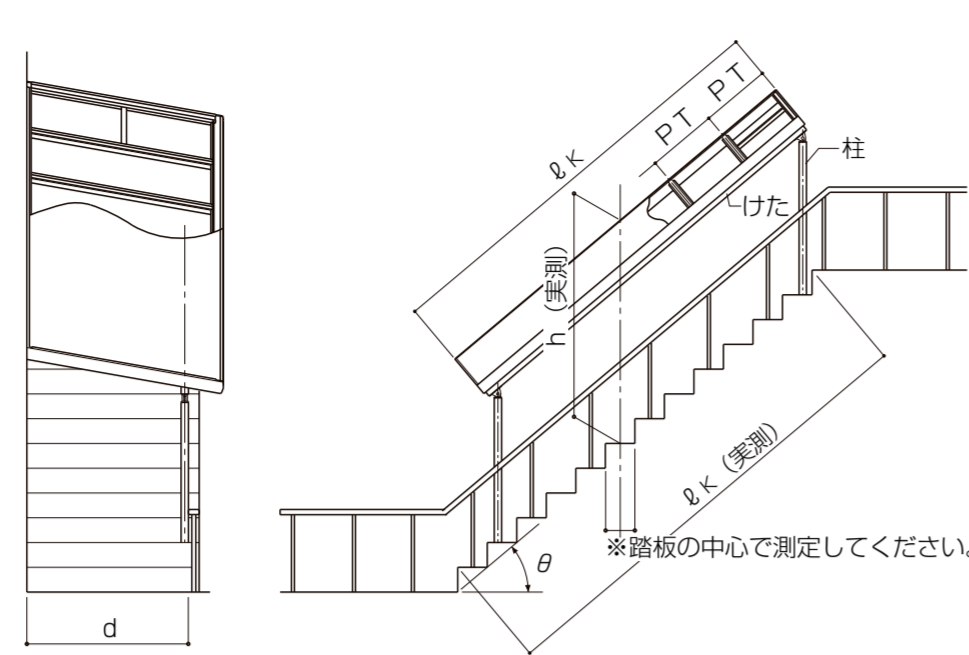
取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

取付け上のご留意

●本製品の施工に際しては、ナーラテラス本体に同梱の取付け説明書を併せてご使用ください。

施工前の調査と打合わせ



●取付け作業を始めてから手直しが出来ないよう、下記のチェックリストをもとに現場の調査・打合わせを十分に行ってください。

Checklist table with columns for No., Form, and Confirmation items.

●角度θの算出

A寸法、B寸法の平均値算出
A=(A1+A2+A3)/3
B=(B1+B2+B3)/3
B/Aの計算値が下表の数字に最も近い値の角度が階段角度になります。

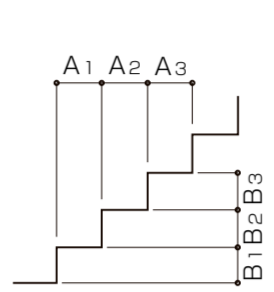


Table for angle theta calculation with columns for theta and B/A values.

基本寸法

●階段部寸法(表-2)

\*測寸法(h)からH寸法を引いた値がhH(柱寸法)になります。

Table 2: Staircase dimensions (h, H, d) for various angles and widths.

Table 2 continued: Staircase dimensions (h, H, d) for various angles and widths.

●垂木ℓT寸法(表-3) (d-35)/cos10° + 298

Table 3: Vertical support dimensions (ℓT, d) for different widths.

●側枠ℓS寸法(表-4) (d-35)/cos10° + 356.5

Table 4: Side frame dimensions (ℓS, d) for different widths.

●階段用野縁ℓKN寸法

階段用野縁ℓKN=垂木ℓT - 69.5

●野縁ℓN寸法

野縁ℓN=PT - 84.5

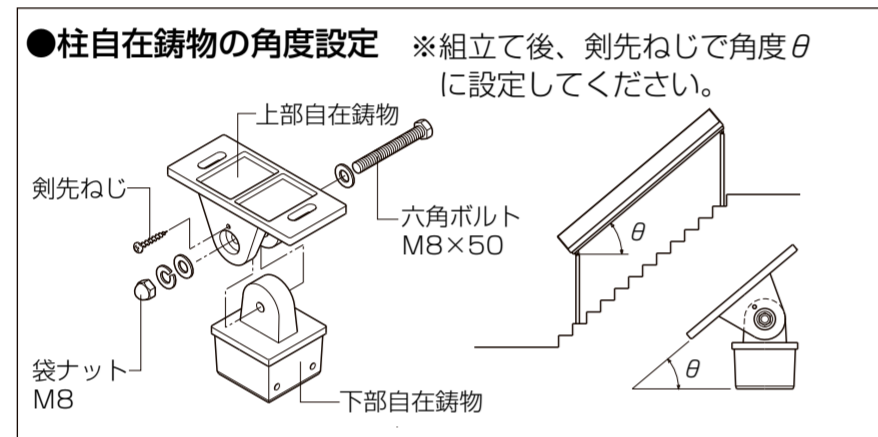
●側枠用雨どい(階段用)ℓEA寸法

階段用雨どい(階段用)ℓEA=側枠ℓS - 65.5

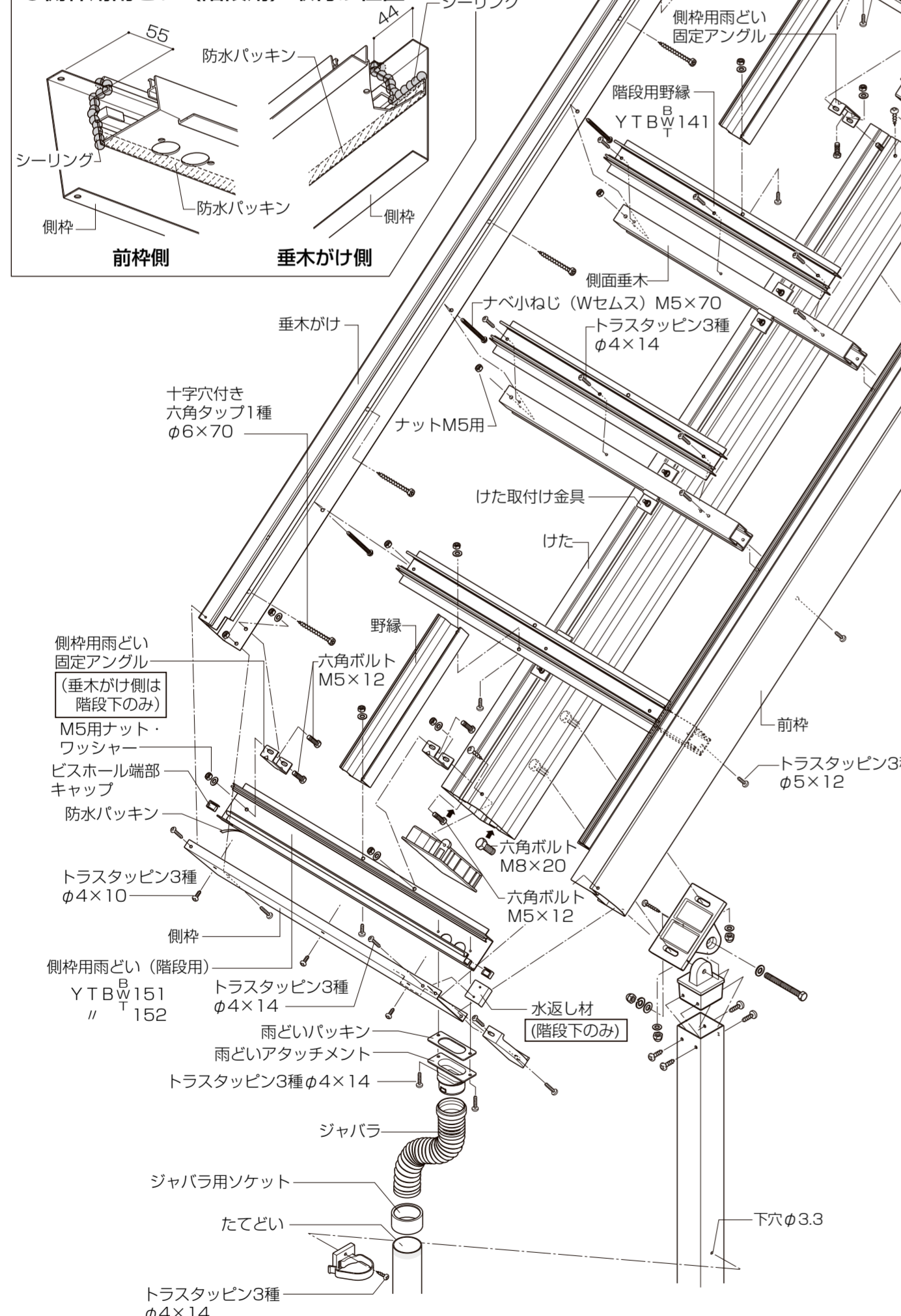
●けたℓE寸法

けたℓE=ℓK(実測) - 46

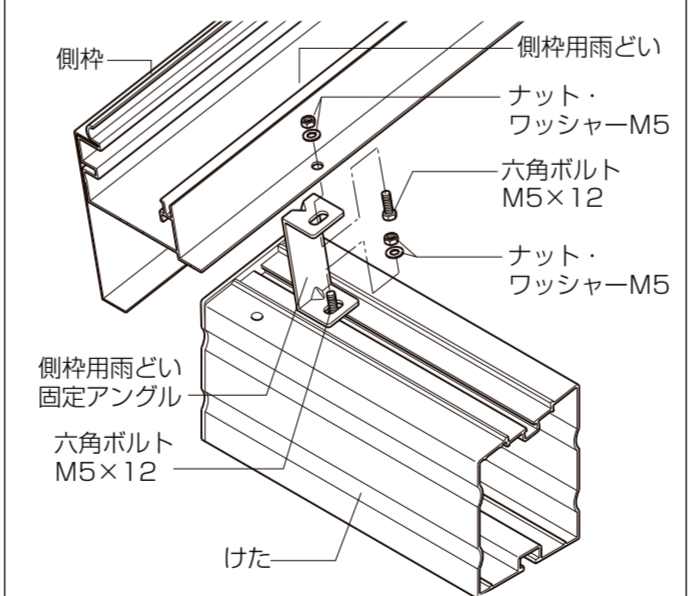
組立て図(各部名称図)



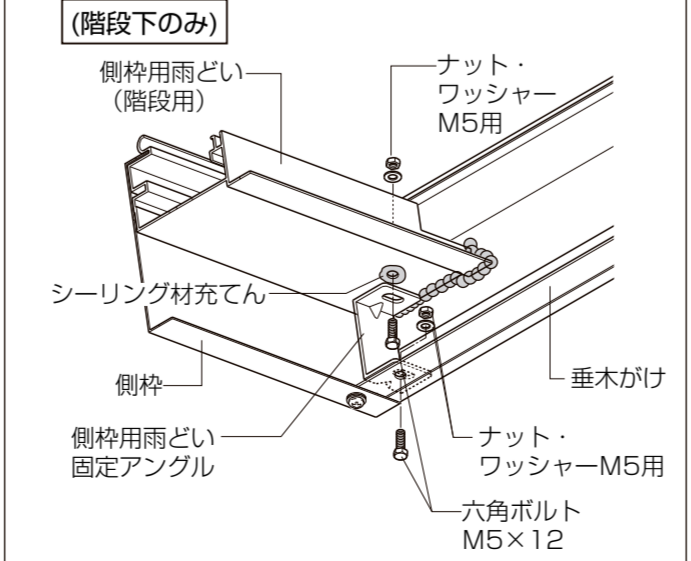
●側枠用雨どい(階段用)取付け位置



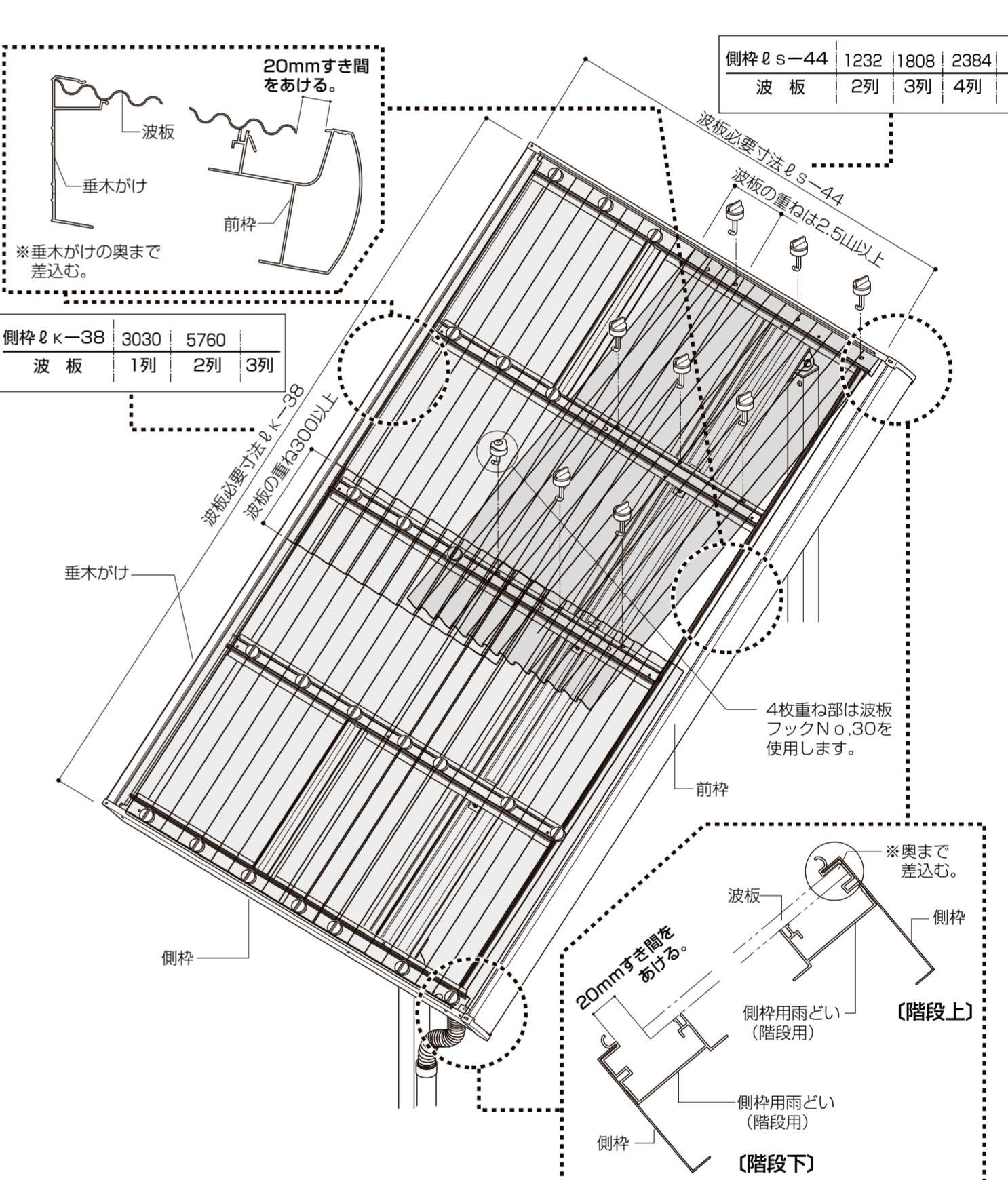
●側枠用雨どい(階段用)とけたの固定



●側枠用雨どい(階段用)と垂木がけの固定

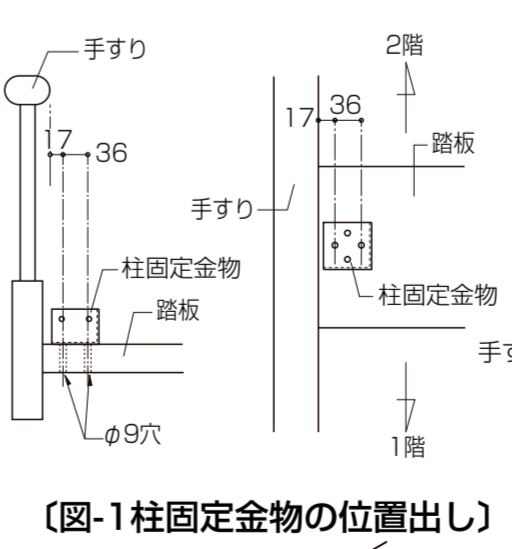


●波板の取付け

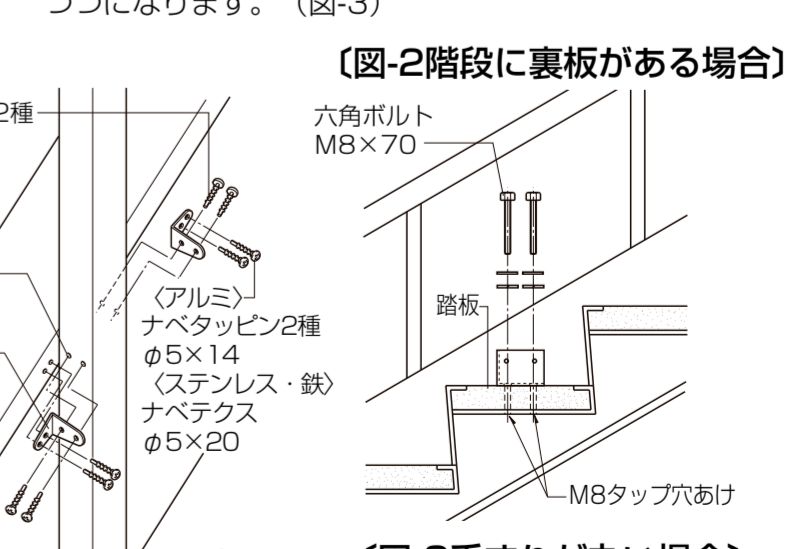


●柱の取付け

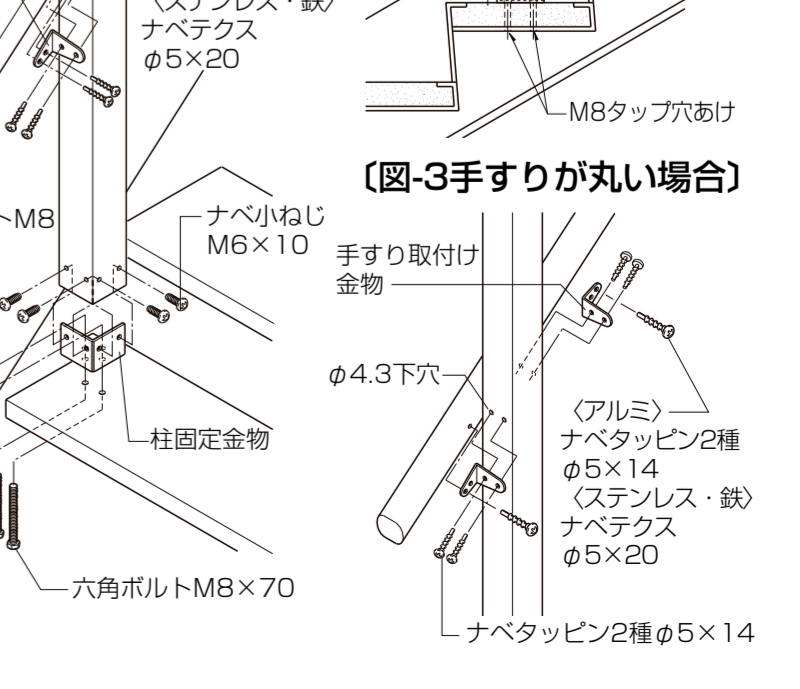
●柱固定金物取付け穴の位置出しを下図のように行います。(図-1)



《アルミ製の手すりに止める場合》
●φ4.5の下穴をあけ、ナベタッピンねじ2種φ5×14で固定します。

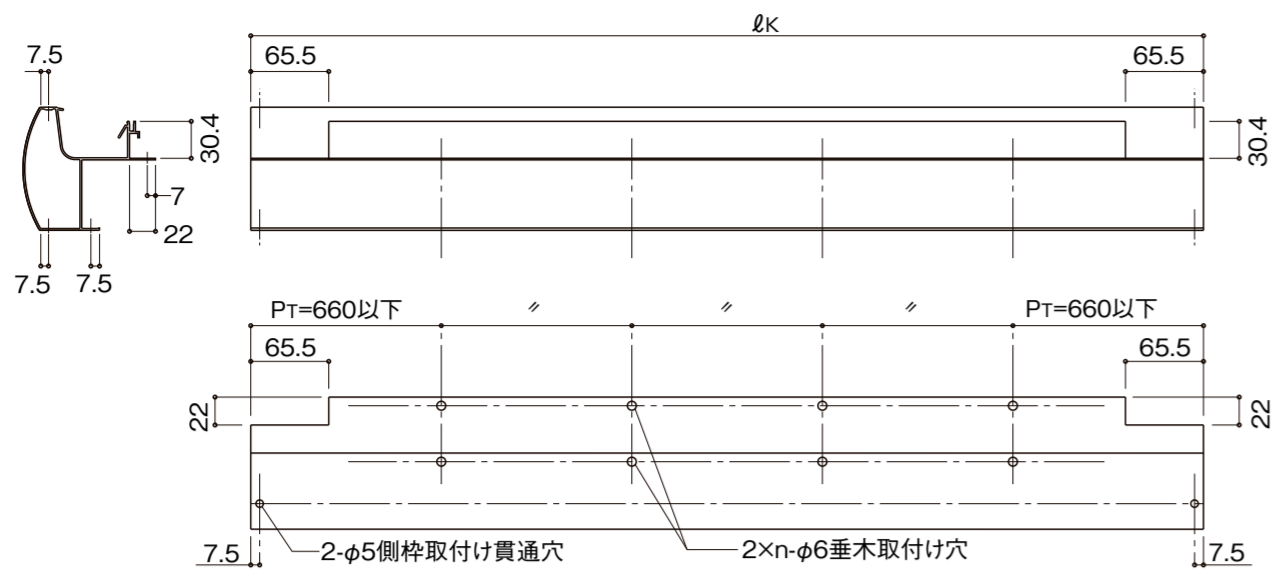


《ステンレス・鉄製の手すりに止める場合》
●φ4.6の下穴をあけ、ナベタッピンねじφ5×20で固定します。

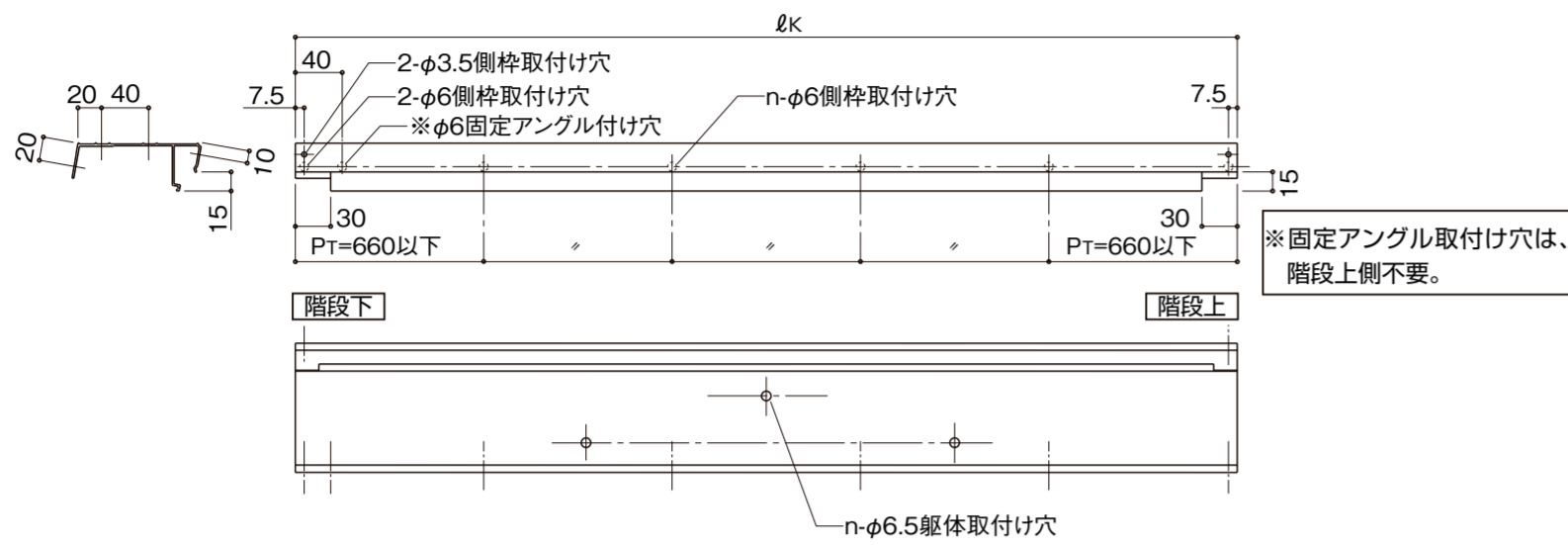


■部材の加工

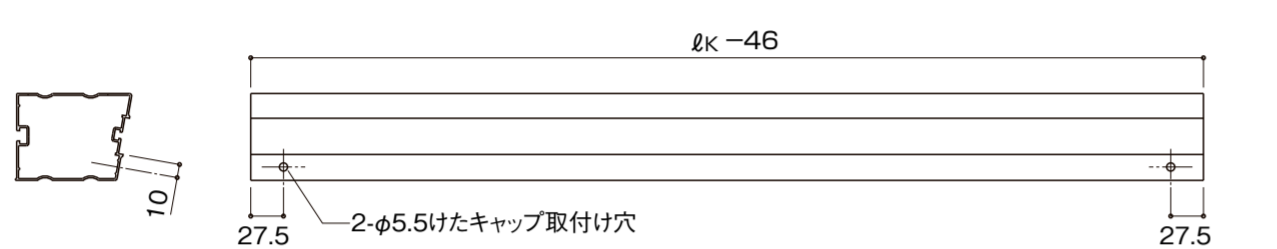
■前枠



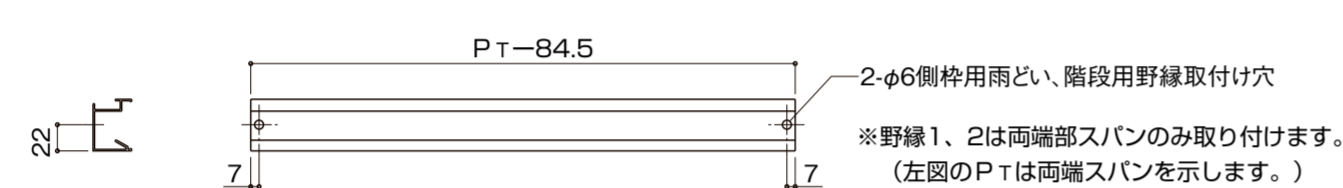
■垂木かけ



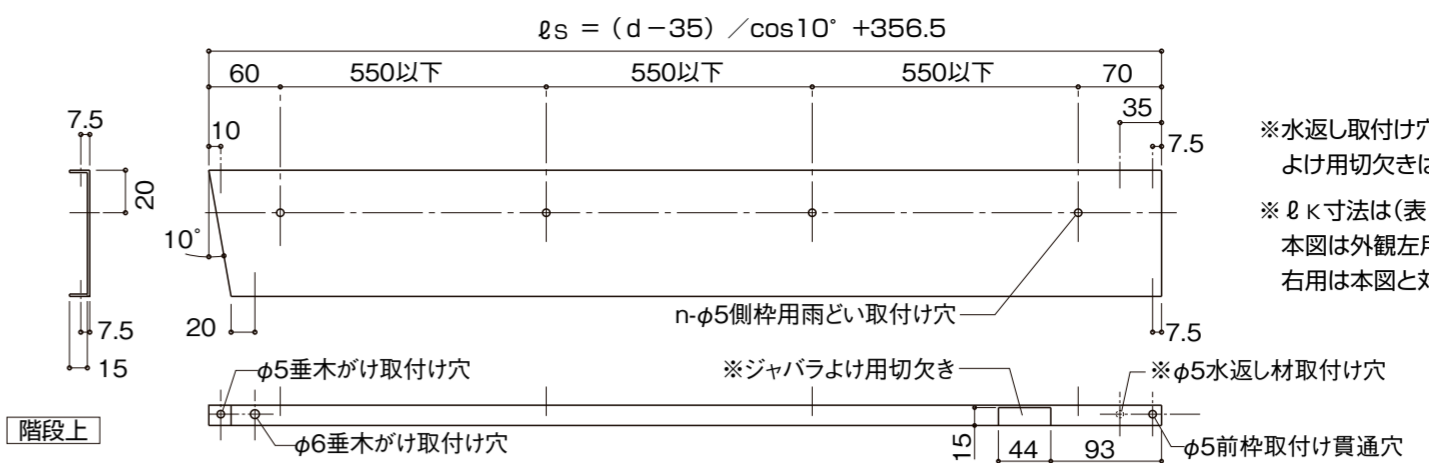
■けた1,2



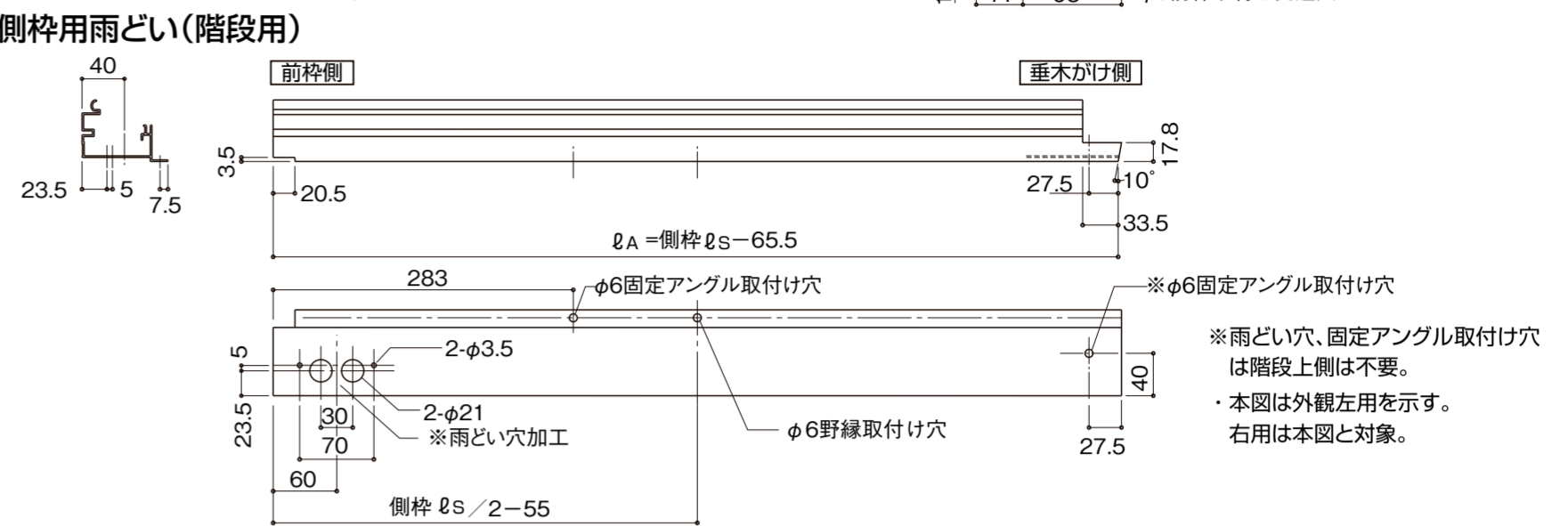
■野縁1,2



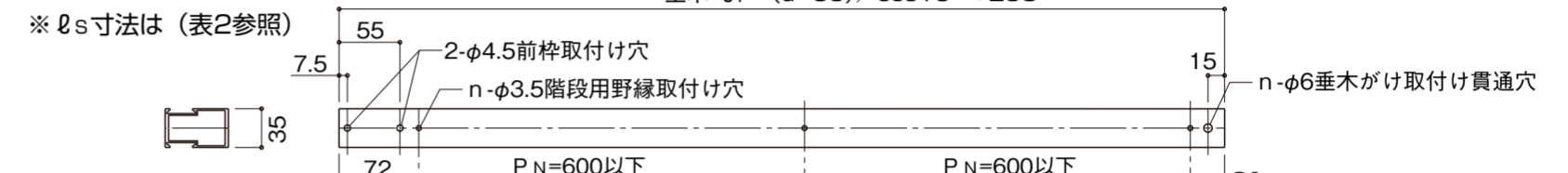
■側枠



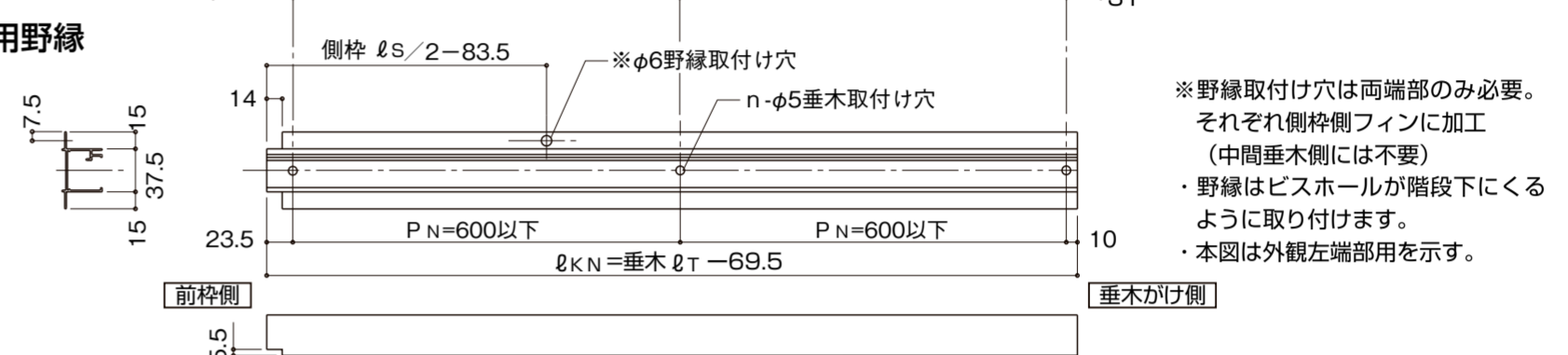
■側枠用雨どい(階段用)



■垂木

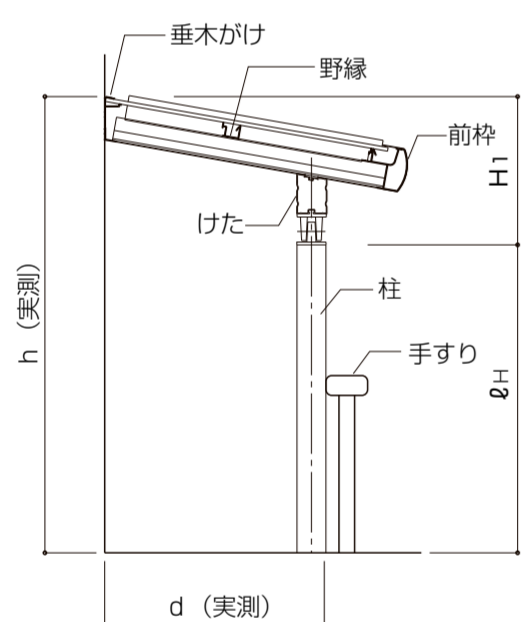
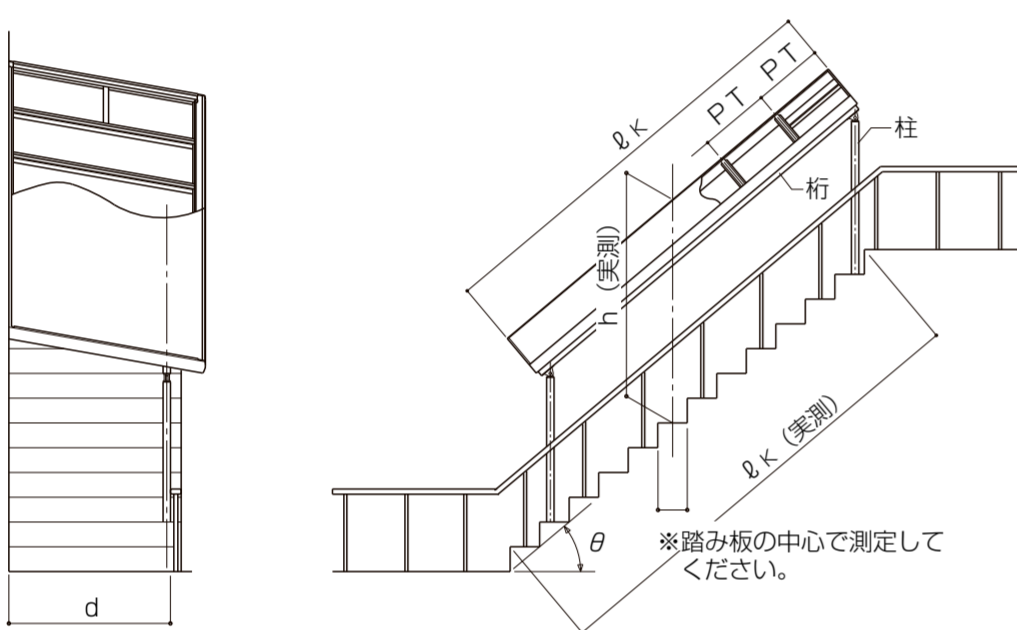


■階段用野縁



■実施例

■各部材ℓ寸算出例



●実測および「下表より、次の寸法を求めます。」

d	ℓk	h	θ	H1
1220	3850	2500	40°	611.5
実測により求めます。				
表1より求めます。				
表2より求めます。				

●計算および下表より各部材のℓ寸法を求めます。

前枠、垂木かけ	柱	垂木	側枠	階段用野縁	側枠用雨どい(階段用)	野縁	けた
ℓk=3850	ℓH=1888.5	ℓT=1501.3	ℓS=1559.8	ℓKN=1431.8	ℓA=1494.3	ℓN=557.2	ℓE=3804
実測値ℓkに同じ	h-H1より求めます。	表3より求めます。	表4より求めます。	ℓT-69.5より求めます。	ℓS-65.5より求めます。	PT-84.5より求めます。	ℓK-46より求めます。

※PT=3850/6=641.7≦660  
 ・d、θの数値が中間値(例:θ=37°)の場合は前後の数値から比例で算出してください。

■参考納まり図

